

→10月17日
きもの大園遊会



↑10月11日 豊公まつり

→10月17日
火縄銃大会



→10月3・4日
アートインナガハマ



秋を彩る

長浜出世まつり

昭和58年から始まった長浜市街一帯で盛大に開催されました。日本一の着物イベント「きもの大園遊会」では、艶やかな着物の女性たちが約千人が参加、街中は約5万人の人手で賑わいました。

10/5 (月)
10/9 (金)



↑児童から歓迎を受けるアウグスブルク市代表团



↑神照小で演奏する金管五重奏団

→豊公園に設置された記念碑



→共同宣言した後、握手をする両市長



ほっとにゅーす

このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ (☎6504) までお知らせください。

アウグスブルク市代表团が来浜

今年ドイツ・アウグスブルク市との姉妹都市提携50周年の記念の年です。クルト・グリーブル市長をはじめ、市議会議員や金管五重奏団総勢13人が来浜。台風18号の影響で記念除幕式などが中止になりましたが、8日(木)の夕食会にて、今後も国際理解を深めるため様々な分野で交流を継続し、特に青年交流などをすすめる共同宣言が行われ、友好の推進を確認しました。



10/18 (日)

私たち消費者にできることは？

長浜市消費学習研究会の主催で、長浜市消費生活フェアが市民交流センターで開催されました。大量消費のライフスタイルを見直すきっかけづくりの場として取り組まれたもので、参加者はリサイクル工作コンテストや消費学習研究会員による啓発劇などから、何ができるのか考えておられました。



10/21 (水)
10/23 (金)

国内最大級の環境産業総合見本市

環境に配慮した新製品・最新技術の総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2009」が県立長浜ドームで開催されました。会場には過去最大規模となる305の企業・団体による展示ブースが494設置され、低炭素社会の実現につながる製品・技術などが紹介されました。



10/17 (土)

植物工場モデル展示ブース オープン

バイオ関連企業の支援等を行う一般社団法人バイオビジネス創出研究会が、まち家succEs横町(元浜町)に植物工場のモデル展示ブースを開設。実際に植物工場で使用する人工の光と水耕栽培装置による野菜栽培の様子を展示。また、葉や茎がキラキラ光り、塩味がする不思議な野菜「アイスプラント」も展示中。



10/20 (水)

ヨシ行けどんどん作戦

びわ中生徒やびわ南・北小4年生ら約300人が、南浜緑地公園周辺の琵琶湖岸にヨシを植える「ヨシ行けどんどん作戦」を行いました。この作戦は、琵琶湖の水質浄化の手助けと自然保護の大切さを学習することを目的に平成14年から取り組まれているもので、生徒らは強風が吹く中、約2,000本のヨシを植えていました。

10/11 (日)



戦国歴史のふるさとを快走

大会テーマに「戦国ロマンのふるさと 清流の草野川路周遊を走ろう」を掲げた「あざいお市マラソン」が、浅井文化スポーツ公園ふれあいグラウンドをスタート・ゴールに開催されました。今年は、県内外から1,491人のランナーが参加。秋晴れの下、思い思いのペースでマラソンを楽しまれました。

10/9 (金)



国宝 都久夫須麻神社本殿の屋根損傷

竹生島にある国宝・都久須麻神社本殿の屋根に穴が開き、ひさしの一部が破損する被害がありました。これは、台風18号の倒木による影響とみられています。この他にも、豊公園の樹木、川道工業団地(川道町)の街路樹それぞれ1本が根元から折れる被害が出ました。